

適用規格		性 能			
定 格	使用温度範囲	-55°C ~ +85°C	保存温度範囲	-10°C ~ +50°C(梱包状態)	
	電 壓	AC/DC 30V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下(結露しないこと)	
	電 流	/3 0.3A	適合ケーブル	t=0.3±0.03mm :金めっき	
項目	試験方法	規 格		QT	AT
外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること (注1)		O	O
表示	目視にて確認する。			O	O
耐電圧	AC 90Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。		O	-
絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	50MΩ以上		O	-
接触抵抗	開回路電圧AC 20mV以下、1mAで測定する。	100mΩ以下 ※FPC導体抵抗を含む(測定長 8mm)		O	-
耐振性	周波数 10~55Hz、片振幅 0.75mm、3軸方向各10サイクル試験する。	① 1μs以上の電気的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: 100mΩ以下		O	-
衝撃	加速度 981m/s <sup>2</sup> 、持続時間 6ms、正弦半波 3軸両方向各3回試験する。	③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		O	-
繰返し動作	10回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 100mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		O	-
FPC插入力	適合FPCで測定する。 (初期、FPC端末厚 t=0.30mm)	水平方向 (n: 極数) 2.6+0.14×n N以下 (注2)		O	-
FPC保持力	適合FPCで測定する。 (初期、FPC端末厚 t=0.30mm)	水平方向 (n: 極数) 5+0.07×n N以上 (注3)		O	-
塩水噴霧	温度 35±2°C、濃度 5%の塩水噴霧中に96時間放置する。	接触抵抗: 100mΩ以下		O	-
温度サイクル	温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35°C 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3分 に 5サイクル放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 50MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		O	-
定常状態の耐湿性	温度 40±2°C、相対湿度 90~95%中に96時間放置する。			O	-
温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10~+65°C、相対湿度 90~96%中に10サイクル(240時間)放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 1MΩ以上(高湿時) ③ 絶縁抵抗: 50MΩ以上(乾燥時) ④ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		O	-
耐熱性	温度 85±2°C中に、96時間放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ以下		O	-
耐寒性	温度 -55±3°C中に、96時間放置する。	② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		O	-
二酸化硫黄 [JIS C 60068-2-42]	温度 40±2°C、相対湿度 80±5%, 濃度 25±5ppmに、96時間放置する。	接触抵抗: 100mΩ以下		O	-
硫化水素 [JIS C 60068-2-43]	温度 40±2°C、相対湿度 80±5%, 濃度 10~15ppmに、96時間放置する。			O	-
はんだ付け性	はんだ温度 245±3°C, 浸せき時間 3±0.3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだでぬれること。		O	-
△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
3	DIS-F-00010250	SE. YOKOYAMA	HY. YAMAZAKI	20210713	
備考	試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。		承 認	NF. MIYAZAKI	20170404
			検 図	YN. TAKASHITA	20170404
			担 当	HH. MURAKAMI	20170404
			製 図	HH. MURAKAMI	20170404
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目	図番	SLC-368163-10-01			
<b>HRS</b>	製品規格表	製品名	FH62-**S-0.25SHW(10)		
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL580	△	1/2

性 能			
項 目	試 験 方 法	規 格	QT AT
環境的性能	はんだ耐熱性 1)リフローの場合 ピーク温度 250°C MAX 220°C以上, 60秒～90秒 リフロー回数：2回以内 2)はんだこての場合 350±10°C, 5±1秒間	外観の変形、及び端子などに著しいガタがないこと。(注4)	○ -

注1) 本品は、ワンアクションロック(嵌合操作はFPC挿入のみ)、上接点仕様です。  
 FPC抜去が必要な場合のみ、ロックレバーの開閉を実施してください。

注2) FPCは本品に対し、斜めに挿入しないようご留意ください。

注3) FPCの仕様により上記の値が変わる場合があります。   
 FPCに垂直方向の荷重が加わる場合は、FPCを固定してご使用願います。

注4) モールドに若干ふくれが発生する場合がありますが、製品性能上問題ありません。

注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目	図番	SLC-368163-10-01	
<b>HRS</b>	製 品 規 格 表	製品名	FH62-**S-0.25SHW(10)
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL580  2/2